



市の美化・減量化
プロジェクト(仮称)

特集

ごみ減量
No.1のまち

賢い選択が目指そう！

ナンバーワン

美しく環境に優しいまちとなるよう、一人一人が意識してごみの減量に取り組み、「ごみ減量No.1のまち」を目指しましょう。
環境政策課(☎504-2505、☎504-2229)



ごみの減量・リサイクルに取り組んでいる市内に在住の家族。ごみ減量のための賢い選択をあららと一緒に紹介します。

チャレンジ 3R Reduce R

「3R」とは、ごみ削減のための三つの行動の頭文字！
[Reduce] リデュース ごみの発生を元から減らすこと
[Reuse] リユース 人に譲ったり販売したりして、繰り返し使うこと
[Recycle] リサイクル 再生して資源として利用すること



ごみになるものを減らそう 環境に優しいライフスタイルに

マイバッグ、マイボトル、マイ箸を持参しよう



繰り返し使えるものを使用することでプラスチックなど、ごみの削減に！

市は、マイボトルの普及促進のため、ウォータースタンド(機)と協定を締結し、マイボトル対応型給水機を設置しています(下記の施設のほか、順次拡大していく予定です)。
給水スポット設置施設
●精神保健福祉センター ●神田山荘
●スマジ交通ミュージアム ●皆賀園
●湯来交流体験センター
※施設を利用する人のみ使用できます

Reuse R

使える物を再利用しよう 不要品を捨てる前に

不要になった子ども服、捨てるのはもったいない！

使わなくなった家具や家電があるなあ

地元で譲れる「ジモティー*1」で譲って？

一度で複数の査定ができる「おいくら*2」を利用して？

*1 ジモティーとは、スマートフォンで不要品の画像などを簡単に投稿できて、譲り先を地元で見つけることができるサービスのこと

*2 おいくらとは、スマートフォンで一度に複数のリユースショップの買取価格を比較し売却ができるサービスのこと

市は、リユース事業者と協定を締結し、リユースの促進に取り組んでいます(上記*1、2)。利用方法は、市ホームページから

市HP ページ番号 310318

ジモティー

①品物を撮影して投稿 ②問い合わせが来たら日程を調整 ③品物を引き渡し... ④相手にメッセージを送って完了

おいくら?

①査定したい商品のカテゴリを選ぶ ②商品・お客様情報を入力して査定依頼 ③届いた査定結果から買取店を選択 ④環境と財布に優しい不要品処分が完了

Recycle R

再生して資源にしよう ごみに出すだけでなく、資源となる回収に

小型家電はリサイクルボックスなどの回収に

携帯電話やパソコンなどの小型家電は、資源として回収されれば、含まれている有用な金属などが新たな資源として生まれ変わります。

回収ボックス設置場所 ●全区役所 ●LECT ●ゆめタウン広島・みゆき店

宅配便回収 宅配業者が希望日時に自宅へ回収に行きます

イベント回収 各区のイベント会場で小型家電を回収します

紙ごみはきちんと分別し、店頭回収なども活用しよう

名刺の大きさ以上の紙ごみは資源ごみに 牛乳パックはスーパーの店頭回収に

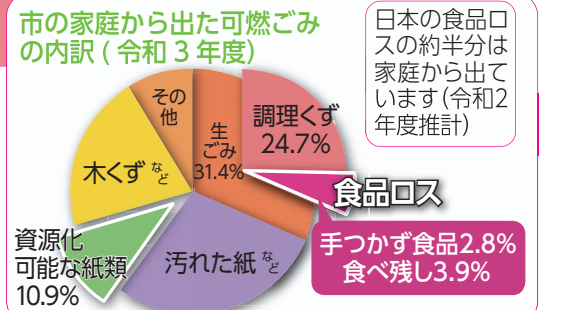
名刺大以上の大きさの紙ごみは、資源ごみです。ひもでしばるか、封筒や紙袋に入れて出してください。はがきなどの個人情報、油性ペンで塗りつぶさず、切り取って出しましょう。牛乳パックや食品トレーは、スーパーなどの店頭回収を利用することで、資源として生まれ変わります。しっかり洗って、汚れを落として出しましょう。

使用済みの天ぷら油も店頭回収に 使用済みの天ぷら油もリサイクルできます。飼料や肥料、燃料などの新たな資源に活用でき、CO2の削減も

食品ロスを削減しよう “もったいない”の心を意識して

食品ロスとは、まだ食べることができるのに廃棄される食品のことです。日本では、年間約522万トンの(令和2年度推計)の食品ロスが発生しています。世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた食料支援量の約1.2倍にも及び、その約半分

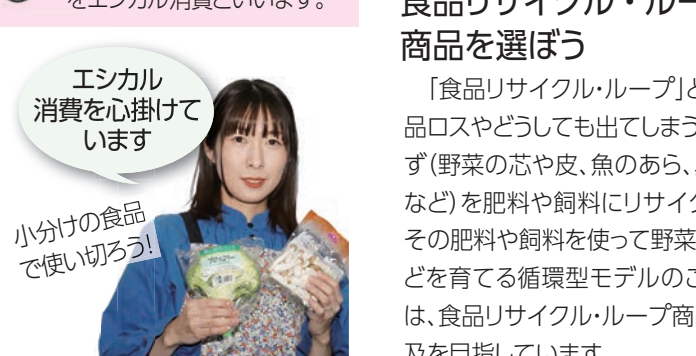
は家庭から出ています。市でも、家庭から出される生ごみのうち約5分の1が食品ロス(右図)です。市は、令和5年4月1日から「食品ロス削減推進条例」を施行。市民・事業者・行政のみんなで食品ロス削減に取り組みましょう。



買い物での心掛け



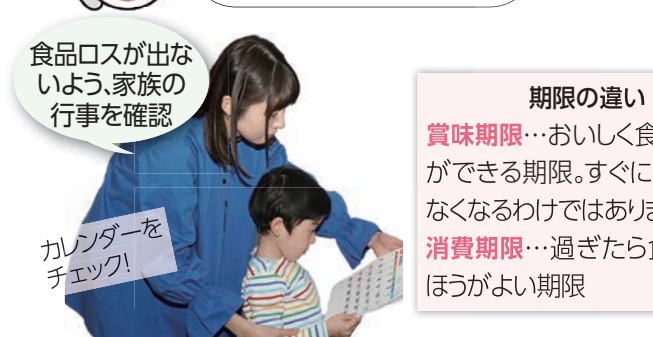
より良い社会に向けて、人や社会、環境に配慮した消費行動をエシカル消費といいます。



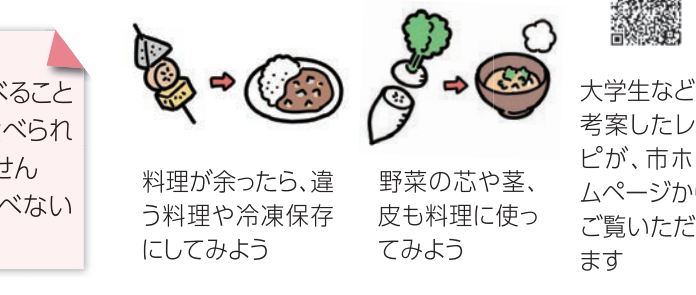
食品リサイクル・ループ商品を選ぼう



家庭での心掛け



エコクッキングにチャレンジ



外出での心掛け



正しく家庭ごみを出そう 出し方を間違えると、再利用できないことや危険なことに

火災の危険を回避!

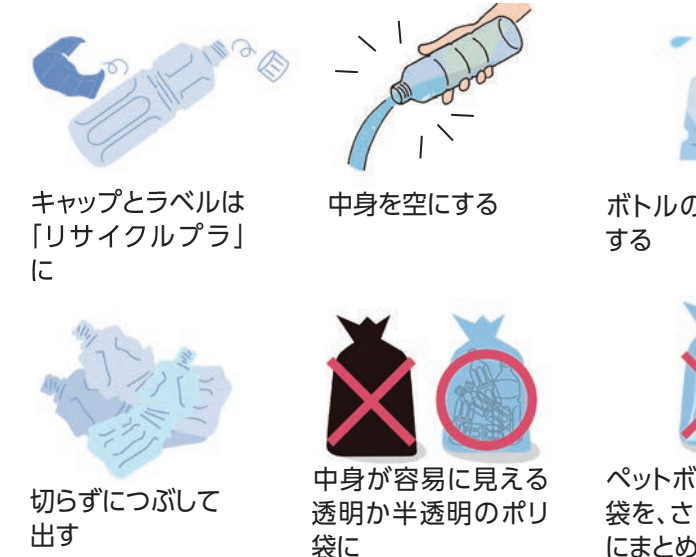
リチウムイオン電池などの小型充電電池は、強い衝撃が加わったり変形したりすると、発熱、発煙、発火するなど、大変危険です。発火する恐れがあるごみが不適切に排出されると、ごみ集積場や収集車、焼却工場、埋立地などでの火災の原因となります。可燃ごみには絶対に入れないで、下記の方法で。

正しいごみの出し方*3

- 充電式小型家電(デジタルカメラなど) 充電電池を取り外してから、大きさにより「不燃ごみ」(最長の辺の長さか最大径が30センチ未満)が「大型ごみ」として出すか、「小型家電リサイクル」(4ページ下参照)へ
- 外した充電電池 両極をセロハンテープで留めて、「有害ごみ」で
- スプレー缶・塗料缶 中身を空にして「資源ごみ」で
- ライター 他の不燃ごみとは別の袋に入れ、袋に「ライター」と書いて、「不燃ごみ」で

*3 家庭ごみでも市以外の収集に出す場合や、事業ごみの場合は、分別区分や排出方法は、契約している収集運搬業者に確認を

ペットボトルの出し方に注意しよう



- 「ペットボトル」は、「リサイクルプラ」と別々の袋で出す
- 食用油、ソース、洗剤などのボトルは、「リサイクルプラ」へ

図分別については、業務第一課(☎504-2220、☎504-2229)へ

施設の見学をしませんか?



市が委託し、家庭から収集した「ペットボトル」と「リサイクルプラ」を、選別・圧縮・梱包後に、再商品化する事業者へ引き渡す作業を行っている施設です。全て手作業で、リサイクルできるものと不適物に選別している実際の様子を、見学してみませんか。見学は、個人でも団体(40人以内)でも受け付けています。(駐車場あり) 業務第一課(☎504-2219、☎504-2229)へ

大型ごみの予約が便利に

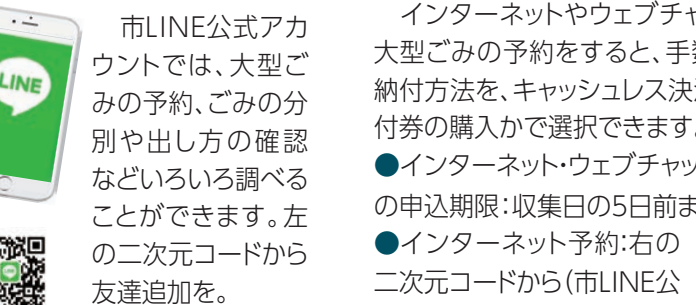
大型ごみ受付センター

☎ 0570-082530

☎ 544-5300

- 電話予約の申込期限:収集日の3日前まで*4
- 受付時間:月~金曜日の9:00~18:00
- 休み:土・日曜日、祝日など、8月6日、12月29日~1月3日

LINEでも紹介しています



*4 各申込期限の「収集日の3日前まで、5日前まで」は、大型ごみ受付センターの休みを除いて教えてください

キャッシュレス決済も

インターネットやウェブチャットで大型ごみの予約をすると、手数料の納付方法を、キャッシュレス決済が納付券の購入かで選択できます。 ●インターネット・ウェブチャット予約の申込期限:収集日の5日前まで*4 ●インターネット予約:右の二次元コードから(市LINE公式アカウントからも)

●ウェブチャット予約:市LINE公式アカウントから ※電話、インターネット、ウェブチャットで予約ができないのみ、ファクス(0570-082531)での予約が可能です。ファクス予約の申込期限は収集日の5日前まで*4 業務第一課(☎504-2220、☎504-2229)